

北東アジア地域自治体等の環境保全に関する情報交流

中国山東省における環境問題とその対策

一、山東省における環境特性

環境容量が比較的小さく、ひとりあたりの水資源の占有量は、全国平均水準の6分の1にしかすぎない。

人口密度が比較的高く、1平方キロメートルあたり592人であり、日本や韓国の状況とはかけ離れている。

経済総量が比較的大きく、2006年のGDPは、2万億元超であり、成長率は14.7%であった。

汚染物質排出総量が比較的多く、SO₂や、COD、粉塵の排出総量が多く、環境容量を超えている。

今後5年間に於いて、当省のGDPは、依然として、年平均約10%の伸び率で上昇し、エネルギーや資源が直面する負荷は、ますます大きくなり、汚染物質排出総量と環境容量における矛盾が突出し、環境保全は、大きな挑戦に直面する。

二、対策と目標

1. 環境経済と政策

- ・市街地区の汚水処理費は、1tあたり0.8元以上に値上がりしたものの、汚水処理要件としては市場化の運営条件を満足している。
- ・発電所が脱硫装置を設置すれば、電力網に供給する卸電力料金が、1キロワット時あたり0.015元優遇される。
- ・医療ゴミの処理費は、1日1床あたり、2元に値上がりしたものの、医療廃棄物処理要件としては、市場化の運営条件を満足している。

2. 今後5年間に於ける環境保護目標

- ・GDPあたりのエネルギー消費は、2005年に比べると22%減少した。
- ・主要汚染物質の排出量は、16%以上削減された。
- ・60%以上の水域が、水質環境の機能区分(用途地域)基準に達した。
- ・都市における大気環境質が、2級基準より優れている日数は、年間の90%を上回った。また、すべての石炭火力発電所において、脱硫システムを確立した。
- ・危険廃棄物や放射性廃棄物にかかる安全処理率は、それぞれ、95%と100%に達した。
- ・「十・五」(訳注) 期間における環境保全に関する投資額は、3,600億元で、同期のGDPの3%を占めるものと推定される。

3. 主な希望分野

- ・水質汚染の規制分野：都市における污水や製紙、化学工業、食品加工、紡績染色等の工業廃水処理、水資源のリサイクル利用、流域の水質改善と生態修復。
- ・大気汚染の規制分野：電力、建材、鉄鋼等の業種による煙道ガス脱硫、脱硝、効率的な集塵等要となる技術や設備、効率的な低汚染排出燃焼技術と製品、工業排気ガス、ゴミ埋め立てガス、嫌気反応ガスの回収、精製、利用する技術と設備。

- ・ 固体廃棄物処理処分分野：工業固形廃棄物、建築ゴミ、都市生活ゴミ、土壌修復等による無害化処理処分と資源のリサイクル。
- ・ 資源のリサイクル分野：廃水、工業や都市から出るゴミ、農業の収穫後の茎等の資源のリサイクル。
- ・ 環境管理とモニタリング分野：環境管理政策、自動モニタリング技術と設備。

三、政策傾向と協力に関する提案

1．政策傾向

- ・ 公共財政の環境保全産業に対する支援を増やす。
- ・ 「政、産、学、研」が有機的に結びついた環境保全産業技術の創造体制とメカニズムの構築を探る。
- ・ 知的財産権を尊重且つ保護し、環境保全産業市場の秩序規範に合うようにする。
- ・ 国内外の優れた環境保全企業と機関が、山東省の環境保全事業と産業に参画することを奨励し、それらが発展する機会を広げる。

2．国際協力に関する提案

- ・ 両国ならびに各国との恒常的な交流メカニズムを構築する。
- ・ 人の交流を活発化させる。
- ・ 環境保全産業に関する協力を増やす。

訳注：

「十 - 五」：第十次五カ年計画のことで、期間は 2001 年～2005 年までを指す。